



Flash News

三重大学

第67号

目次

- 名誉博士称号授与式・記念講演会「企業の社会的責任」
- 「津市との連携協力協定」を締結
- 「理系分野における男女共同参画」講演会を開催
- 「第2回産官学連携セミナー2008in伊賀」を開催
- 学長表彰・感謝状授与式
- 三重大COE-A研究成果報告会を開催
- 世宗大学校（韓国）と調印式
- 総括シンポジウム「リグノセルロースを解く」を開催
- 附属病院に肝炎相談支援センターを開設
- 藤堂藩古文書展を開催
- 「20年度業務改善活動報告会」を開催
- 「評価者研修会」と「衛生管理者研修会」を開催
- 留学生の母語による語学研修会を開催
- チェンマイ大学名誉学位授与

名誉博士称号授与式・記念講演会「企業の社会的責任」

2月2日、講堂（大ホール）において、学術文化、国際交流および地域社会の発展における多大な功績を讃えて、イトン株式会社名誉会長相談役岡田卓也氏に、三重大学名誉博士の称号を授与（第一号）しました。その後の講演会で岡田氏は、「小売り業の発展の原点は平和であると確信している。利益を上げるより、生きたお金として使う方が難しく、どの企業も社会貢献に取り組んでほしい。」と熱く語られ、出席した学生や教職員、市民700余名は熱心に耳を傾けていました。講演会終了後、岡田氏を囲んで本学環境ISO学生委員会の学生約50名と環境保護活動などについて意見交換を行いました。



岡田卓也氏

豊田長康学長

「津市との連携協力協定」を締結

2月20日、本学は津市役所において、豊田長康学長、松田直久津市長をはじめ関係者の出席のもと、津市との標記協定を締結しました。この協定により教育や産業育成などこれまでに行われてきた連携を深めるとともに、歴史・文化による街づくり、自然・生活環境問題、産学官民連携による産業振興、医療健康福祉問題、高等教育機関の連携、防災対策、国際化など、さらなる連携の強化が期待されます。また、医療・福祉分野のマトロポリティセンターを津市と本学が協同で立ち上げる予定です。



松田直久津市長

豊田長康学長

「理系分野における男女共同参画」講演会を開催

1月20日、講堂（小ホール）において、科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「パールの輝きで、理系女性が三重を元気に」の活動の一環として、標記講演会を開催しました。講師の鈴山雅子三重県男女共同参画センター・フルタイム所長は、日本における男女共同参画の現状をグラフやクイズ形式で分かりやすく紹介すると共に、「男女共同参画社会の実現には、男女の意識や生活パターンを根本的に変えなければならず、なお一層の努力が必要である。」と強調されました。当日は、学内外から多くの男性を含む100余名の参加があり、男女共同参画への理解を深めていくよい機会となりました。

「第2回産官学連携セミナー2008in伊賀」を開催

1月23日、伊賀市のパルティオにおいて、三重大学が伊賀に研究拠点を開設するにあたり、その理解を深めるため標記セミナーを開催しました。有機農業技術会議代表理事の西村和雄博士による「山・里・海をつなぐもの、～環境と川の流れをみながらかんがえること」と題した基調講演が行われ、続いて本学から、生物資源学研究所の後藤正和教授と創造開発センターの松井純コーディネーターによる講演が行われました。最後に、生物資源学研究所の前田広人教授から伊賀研究拠点におけるこれからの展開についての具体的な説明が行われました。当日は、市や地元企業などの関係者約140名が出席し、次期学長候補者である内田淳正附属病院長から伊賀研究拠点に対する本学の意気込みと抱負が語られました。

学長表彰・感謝状授与式

環境ISO学生委員会は、リデュースの削減（Reduce）、放置自転車の再利用（Reuse）および古紙のリサイクル（Recycle）活動について、環境省が提唱している3R活動推進の優れた取り組みとして評価され、平成20年度容器包装3R推進環境大臣賞（優秀賞）を受賞しました。この栄誉を讃え、1月28日に学長表彰が行われました。また、体育会応援団は、体育会クラブの応援、入学式・卒業式での応援ステッカーおよび津まつりへの参加など大学や地域社会への貢献活動に対して、感謝状が授与されました。

三重大COE-A研究成果報告会を開催

1月23日、平成16～20年に実施された三重大COE-A「炎症性血管病変による臓器障害機構の解明とその修復再生治療法の開発」（代表：鈴木宏治教授・大学院医学系研究科）の成果報告会が開催されました。報告会では、炎症性血管病変の分子病態、炎症制御の細胞内分子機構、脳動脈病変の新しい治療法の開発、冠動脈疾患・脳血管障害のオーダーメイド予防システムの開発などの報告会の他、文部科学省海外特別招聘教授の J. Morser博士による特別講演があり、熱心な討議が行われました。

世宗大学校（韓国）と調印式

2月10日、学長室において、世宗大学校（韓国）との大学間交流協定調印式を行いました。調印式には、豊田学長、小林理事、櫻谷人文学部長、石井人文学部副学部長、朴人文学部教授が、世宗大学校からはSeung Kyu Yang学長、Soo-Yeon Kim国際交流センター長、Joshua Han同センター職員が出席しました。調印式後は、教育・研究交流などについて意見交換が行われました。また、世宗大学校と朴教授とは環境教育の日韓交流に関わっていることから、これからさらなる発展が期待できます。



総括シンポジウム「リグノセルロースを解く」を開催

1月14～15日、東京お台場の日本科学未来館において、最終年度を迎えたJST-SORST船岡正光（生物資源学研究所教授）研究プロジェクト「植物系分子素材の逐次精密機能制御システム」の標記シンポジウムが開催されました。14日は成果報告「バイオを操る新技術」が行われ、15日には国内外の気鋭の研究者による講演「バイオの時代を創る」とパネル討論が行われました。CRESTから続く10年間の研究総括に両日あわせて300名の参加があり、新しい植物資源活用法への関心の高さや期待の大きさが感じられました。

附属病院に肝炎相談支援センターを開設

附属病院は、昨年12月に三重県における肝疾患診療連携拠点病院の県の指定を受け、1月20日、院内に「肝炎相談支援センター」を開設しました。県内の肝疾患の診療ネットワークの中心的な役割を果たすため、患者様やそのご家族の方々からの相談を受け、さらには医師や看護師、薬剤師等医療従事者に対し、講習会などによる最新の肝炎診療情報を提供し、三重県内肝疾患診療レベルの向上に努めます。

藤堂藩古文書展を開催

1月24日～30日、附属図書館は、三重大学歴史研究会例会古文書の会と共催し、所蔵資料による標記古文書展を開催しました。展示資料は、17世紀中期までの初期藤堂藩関係書状5点と、藤堂藩最古の高虎一代記とみられる「藤家忠勤録」10冊です。書状のうち「二月十一日付近衛信尋書状」は、卓越した能書家であった近衛信尋（後水尾天皇実弟、1599～1649年）の直筆書状と考えられる貴重なものです。解説「初期藤堂藩関係史料の紹介」（無料）が、図書館ロビーのカタログスタンドにありますのでご利用下さい。

「20年度業務改善活動報告会」を開催

1月30日、本学が中期目標・計画に掲げる目標チャレンジ活動の一環として、事務職員による標記報告会を開催しました。豊田学長による講話「使命・目標を文字通り徹底することの大切さ」に続き、各部局から推薦された8グループの活動報告が行われ、役員等による審査の結果、総務チーム「全学会議の事務的効率化と経費削減」、附属病院経営管理課「PDCAサイクルによる問題解決の手法」、附属教育研究施設チーム「附帯施設生產品の地域発信と高付加価値、ブランドグッズの構築を図る」の3グループが「優秀賞」を受賞しました。

「評価者研修会」と「衛生管理者研修会」を開催

2月3日～4日の2日間、職員評価の評価者であるチームリーダー（課長）に対して、外部講師による研修会を開催しました。研修会は、事例研究を通して「公平性」への留意点や陥りやすい評価の錯誤について検討を行い、受講者からは、「評価することの難しさを改めて感じ、非常に参考になった」との感想が寄せられました。また、2月4日には、山田労働安全衛生コンサルタント事務所の山田善久氏を講師に迎え、衛生管理者と衛生推進者を対象とした本学初の衛生管理者研修会を開催しました。

留学生の母語による語学研修会を開催

1月26日～2月26日、国際交流センターにおいて、初級レベルの学生や教職員を対象に留学生が講師となり、留学生の母語である中国語・タイ語・韓国語の3カ国語で各10回、語学研修会を開催しました。豊田学長、櫻谷人文学部長をはじめ多くの参加者が熱心に受講しました。

チェンマイ大学名誉学位授与

2007年10月からタイのチェンマイ大学工学部の客員教授として招聘を受けていた伊藤信孝名誉教授に、広くグローバルな教育・研究の実績を讃え、1月22日同大学から名誉学位が授与されました。伊藤氏は、「今回の受賞が後に続く若い人にいくらかでも励みになれば幸いです。」との喜びの言葉を述べられました。



投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

小林英雄 (kobayashi@mie-u.ac.jp) または 井上真理子 (mariko-i@ab.mie-u.ac.jp) まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで (<http://www.mie-u.ac.jp>) ご覧いただけます。》編集責任者/理事・事務局長 三浦春政